科目名	治療総論Ⅱ－ME機器の基礎	講師	非常勤講師
履修時期	2年　前期	単位数	1
		時間（回数）	30(内8)

＜科目設定理由＞

『治療総論Ⅱ』は、「手術療法と麻酔・救急医療」・「ME機器の基礎」で構成される。

医学の父と呼ばれるヒポクラテスは「病気は人間が自らの力をもって自然に治すものであり、医者はこれを手助けするものである」と語っており、治療や医療行為は人間の身体にもともと備わっている治癒力を助けるものでなくてはならない。すなわち、患者の病態を改善し健康を回復するための医師による行為が治療である。

医学は病気を診断し治療を行うことで、病気を治癒させたり、現在生じている症状を緩和・消失させ今後おこりうるであろう健康問題を低減させる。看護者が対象の自然治癒力を引き出し、回復過程を支援するためには医師の行う診断・治療についての理解が不可欠といえる。

近年、医療技術の進歩と情報通信技術の発展に伴い、さまざまな医療電子機器（ME機器）が開発されている。とくに今日の手術においては、ME機器の使用は不可欠である。また対象の生命を維持し身体の変化を監視したり、在宅で治療を継続するためのME機器は、看護が展開されるあらゆる場面で使用されている。

そこで、今日の医療現場におけるME機器の役割と意義を知り、代表的な診断用機器と治療用機器についてその原理と取り扱い・安全管理についての基礎的知識を得ることをねらいといして科目を設定する。

学習目標	現代医療におけるME機器の役割と意義が分かる。 医療機器の種類と適用が分かる。 医療機器の原理と取り扱いに関する基礎的知識が分かる。
学習内容	1. 現代医療におけるME機器の役割と意義 2. ME機器の種類（診断用機器・治療用機器）と原理および取り扱いと安全管理 ・電気メス ・心電計 ・パルスオキシメーター ・人工呼吸器 ・血液浄化装置 ・除細動器 3. 保守管理の必要性と看護師の役割/ICTの進歩に伴う展望
授業形態	講義・グループワーク
評価方法および評価の観点	筆記試験
テキスト	（未定）
参考資料・図書	
履修上の留意事項・受講条件	日本海総合病院第3会議で授業の場合あり